

産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

開所記念国際シンポジウム

—福島の地に新しい産業集積を—

■日時：2014年4月20日(日) 13:00～16:50

■会場：郡山ビューホテルアネックス (福島県郡山市中町 10-10)

■主催：独立行政法人産業技術総合研究所

※JR 郡山駅西口から徒歩5分

■後援：経済産業省 (予定)

産総研は、「世界に開かれた再生可能エネルギーの研究開発の推進」と「新しい産業の集積を通じた復興への貢献」をミッションとする「福島再生可能エネルギー研究所」を、平成26年4月1日に福島県郡山市に開所いたします。つきましては新研究所の開所を記念し、4月20日(日)に「産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所 開所記念国際シンポジウム」を開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

プログラム

(敬称略)

- | | |
|-------------|---|
| 13:00-13:45 | 主催者挨拶：
中鉢良治 (産業技術総合研究所 理事長) |
| | 来賓挨拶：
内堀雅雄 (福島県 副知事)
品川萬里 (郡山市長)
過足満雄 (郡山商工会議所 副会頭) |
| | 研究紹介：
大和田野芳郎 (産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所 所長) |
| 13:45-15:05 | 講演 (第一部)：
Dr. Dan E. Arvizu (米国 NREL 所長)
Dr. Unni M. Steinsmo (ノルウェー SINTEF 総裁)
Dr. Jim Smitham (豪州 CSIRO テーマリーダー)
Dr. Robert Yie-Zu Hu (台湾 ITRI グリーンエネルギー研究所 所長) |
| 15:05-15:45 | コーヒープレイク |
| 15:45-16:45 | 講演 (第二部)：
渡辺光宏 (株式会社 NTT ファシリティーズ 代表取締役副社長)
桂木聖彦 (日本地下水開発株式会社 常務取締役)
中村道治 (科学技術振興機構 理事長)
倉田健児 (新エネルギー・産業技術総合開発機構 副理事長) |
| 16:45-16:50 | 閉会挨拶 |

※シンポジウムには英日/日英同時通訳が付きます。※プログラムは都合により変更する場合がございます。

参加申込

●参加ご希望の方は、下記「申込フォーム」をご利用ください。

<http://www.fukushima.aist.go.jp/ja/symposium/application.html>

※定員：400名 (定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。)

●お問い合わせ：「国際シンポジウム」事務局/電話：024-963-1805 メール：frea-symposium-ml@aist.go.jp

参加費無料

再生エネの未来探る

産総研研究所 国内外8人が報告

山 郡

産総研研究所
開所記念シンポジウムは二十日、
郡山市の郡山ビューホ
テルアネックスで開か
れた。国内外の研究者
八人が再生可能エネル
ギー研究の現状や今後

の可能性などについて
報告した。
産総研の主催、経済
産業省の後援。研究機
関や企業、行政などの
関係者ら約四百人が来
場した。産総研の中鉢
良治理事長が「研究所
は新生・福島を担
う。役割を理解してい



福島再生可能エネルギー研
究所と連携する考えを示す
NRELのアルビズ所長

ただき、ぜひ足を運ん
で活用してほしい」と
呼び掛けた。内堀雅雄
副知事、品川萬里(ま

さと)郡山市長、過足
満雄郡山商工会議所副
会頭があいさつ。研究
所の大和田野芳郎所長
が研究内容について説
明した。

最初に講演した米国
の国立再生可能エネル
ギー研究所(NREL)
のダン・E・アルビズ
所長は、再生可能エネ
ルギーの積極活用を掲
げるオバマ米大統領の

エネルギー戦略やNR
Eの取り組みを紹介
。その上で「産総研
との連携を今後一層深
めたい」との考えを示
した。

ノルウェーの産業科
学技術研究所(SIN
TEF)のウニ・M・
ステインスモ総裁は同
国内での再生可能エ
ネルギーの活用実態
を説明し、「福島再生

可能エネルギー研究
所の取り組みに期待
する」と述べた。オー
ストラリアの連邦科
学産業研究機構(CS
IRO)のジム・スミ
ガン・テームリーダ
ー、台湾の工業技術研
究院(ITRI)グリ
ーンエネルギー研究
所のロバート・ヤウス
・フー所長も登壇し、
研究所と協力する姿

勢を示した。
国内の研究機関から
は、科学技術振興機構
(JST)の中村道治
理事長をはじめNTT
ファシリティーズの渡
辺光宏副社長、日本地
下水開発の桂木聖彦常
務、新エネルギー・産
業技術総合開発機構の
倉田健児副理事長が各
機関の取り組みについ
て語った。